

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393400094
事業所名	グループホームはなえくぼひくみ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナの5類感染症移行後は、地域行事参加や近隣散歩等で地域との交流を再開している。子供神輿の再開もあり、休憩所として開放し、子供たちとの交流を楽しむこともできた。散歩時には近隣の方たちと挨拶を交わし、日常的に交流している。買い物や外食、近場のドライブ等、地域への外出を意識的に増やしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	年6回の会議を開催している。メンバーとは良好な関係を構築し、運営報告のみならずホームの困りごと相談の機会ともなっている。ホームの運営報告を基にした意見交換では、参加者が活発に発言し、意見や提案を述べている。内容は職員周知を図り、ホーム運営に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市の担当者、地域包括支援センターが運営推進会議に参加し、ホームの実情理解の上での助言をもらっている。内容はホーム運営に反映させるとともに、サービスの向上に活かしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	運営推進会議参加、面会等の来訪時、連絡時等々、利用者家族が意見や提案を直接表出できる機会を作り、聴取している。家族との関係は良好で、ホームイベントの手伝いに協力があったり、家族側から参加できるイベントの企画の打診があつたりと、運営にも協力的である。聴取した家族の意見や提案は、ホーム運営や支援内容に反映させている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	○	○	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎	○	◎						